

## 歴史と水郷と温泉の町



### ■蟹江町

K A N I E

蟹江町は、愛知県の西南部に位置し、東は名古屋市、北は津島市、七宝町、西は佐屋町、南は十四山村、飛鳥村に接しています。町内には蟹江川・日光川・福田川が南北に流れ、それぞれが伊勢湾に注いでいます。人口36,548人（平成15年10月現在）、総面積11.10平方キロメートルの全域が海拔0メートル地帯となっています。また、蟹江町には、近鉄名古屋線、J R 関西本線、道路網では東名阪自動車道、国道1号、西尾張中央道などの交通幹線が通り、電車や高速道路で名古屋から10分と交通の便に恵まれた大都市近郊の町という有利な立地条件のもとにあります。



「カニエ」と名づけられた地名が、初めて文献に表されたのは、1215年（建保3年）「水野家文書」の中からといわれています。そのころの蟹江は、一面海に囲まれた土地で、「蟹江郷」とか、「富吉荘」という名称で呼ばれていましたが、海辺に柳が茂り、多くの蟹が生息していたことから「蟹江」と呼ばれるようになったと伝えられています。

戦国時代の蟹江は、伊勢湾の海上交通の重要な要衝地として栄え、江戸時代には、蟹江港（現在の舟入）として、周辺地域を含め経済活動の中心地を形成、漁業基地をも作り上げ大変な賑わいを見せていました。

このようにして古い歴史と高い文化につちかわれた蟹江は、多くの史跡、文化財に恵まれるとともに、尾張温泉、各種史跡、文学散歩道、へら鮎釣りなどの観光地として、訪れる者になお深い感銘を伝えています。

#### ○尾張温泉郷

蟹江町には、泉温55度、日量5千トンを誇る重曹水素泉の天然温泉「尾張温泉郷」と呼ばれる旅館・ホテルが3軒、また、演芸と温泉が楽しめる施設などがあり、名古屋の離れ座敷、水郷を望む閑静な湯の郷として各地からの観光客をもてなしています。



#### ○佐屋川魚釣り

へら鮎釣りのメッカとして太公望の方には全国的にも有名な佐屋川。へら鮎のみならず鯉やボラの寄せ場もあります。寄せ場のある温泉前から国道1号線の間までの佐屋川は一年中大公望で賑わっています。

#### ○須成祭り

8月の第1土曜日と翌日の日曜日に宵祭りと朝祭りが、その一週間前の日曜日に葎（よし）刈りが行われ、それぞれの祭事が県の無形民俗文化財に指定されています。

蟹江町役場ホームページアドレス <http://www.town.kanie.aichi.jp/>